

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和2年2月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 子ども予防接種週間について

令和2年3月1日(日)から3月7日(土)は子ども予防接種週間です。
4月からの入園・入学に備え、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう！

- 予防接種に関する質問は、かかりつけ医に御相談ください。
- 予防接種が受けられる医療機関については、お住まいの市町の予防接種担当課へお問合せください。
- 予防接種を希望される方は、医療機関へ事前に予約しましょう。

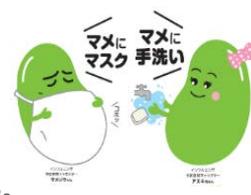
(2) インフルエンザの流行状況について

インフルエンザの定点医療機関（115 医療機関）からの報告患者数が、令和元年12月の8,583人から令和2年1月は7,468人と減少しました。

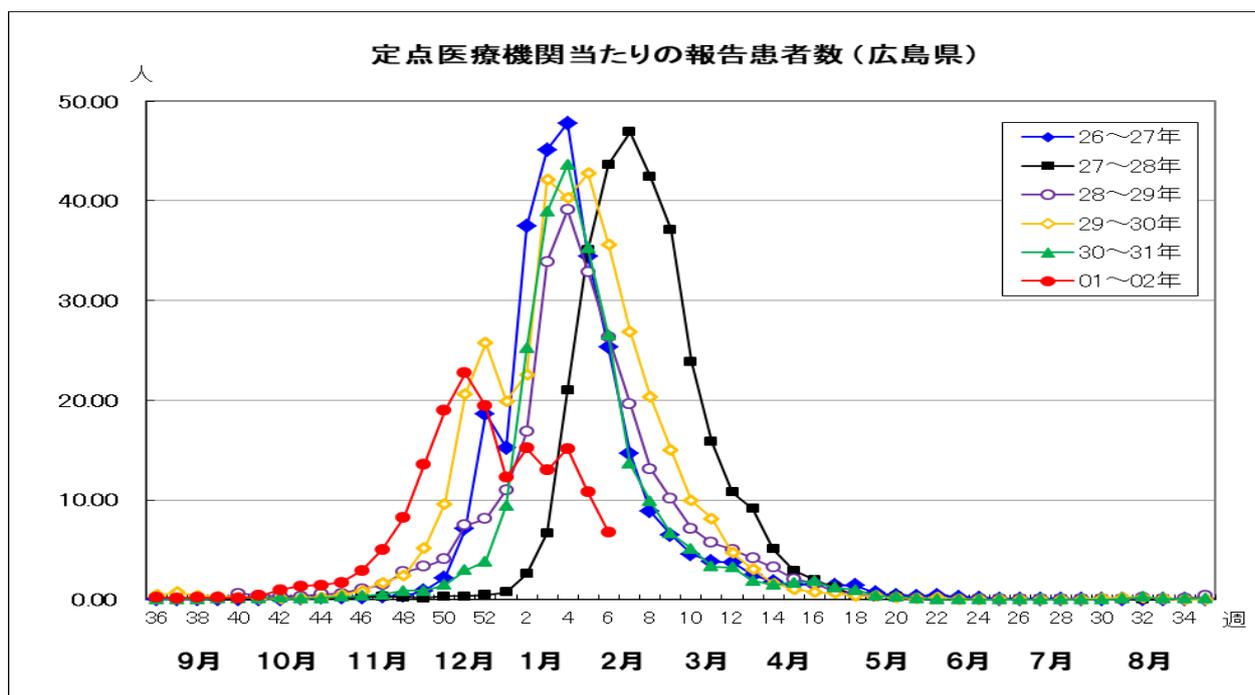
今シーズンは昨シーズンと比較して警報の発令が4週間程度早かったものの、ピーク時の患者数は例年の半数程度に留まっており、新型コロナウイルスへの対策として個人の衛生意識が向上した結果、インフルエンザの感染対策としても効果がでていいるものと考えられます。しばらくは県内のインフルエンザの流行が続くものと思われまますので、引き続き、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防・感染拡大防止対策の徹底をお願いします。

インフルエンザを予防するための注意点

- こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度（50%～60%）を保ちましょう。
- 人が集まる場所への外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- インフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 咳エチケットを守りましょう。
 - ・咳・くしゃみの症状がある場合は、マスクを着用する。
 - ・咳・くしゃみの際には、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむける。
 - ・鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。



インフルエンザ警報発令中!!



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年1月分(令和元年12月30日～令和2年2月2日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	7,468	13.29	26.94	↘	10	ヘルパンギーナ	3	0.01	0.03	↓
2	RSウイルス感染症	109	0.31	0.54	↘	11	流行性耳下腺炎	16	0.05	0.40	↓
3	咽頭結膜熱	229	0.65	0.41	↘	12	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	553	1.58	1.89	↘	13	流行性角結膜炎	43	0.48	0.71	↘
5	感染性胃腸炎	2,273	6.48	6.95	↘	14	細菌性髄膜炎	3	0.03	0.01	
6	水痘	86	0.25	0.43	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	42	0.12	0.16	↓	16	マイコプラズマ肺炎	14	0.13	0.26	↗
8	伝染性紅斑	141	0.40	0.33	↘	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	75	0.21	0.31	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.14	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年1月分(1月1日～1月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	75	3.26	2.12	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	79	3.76	3.45	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	28	1.22	0.95	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0.24	0.34	
21	尖圭コンジローマ	24	1.04	0.63	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.07	
22	淋菌感染症	34	1.48	0.84	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 なし
○急減疾患 手足口病 (0.25 → 0.12)
ヘルパンギーナ (0.06 → 0.01)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	21	結核(21)〔西部保健所(2),西部東保健所(2),東部保健所(1),北部保健所(1),広島市保健所(8), 呉市保健所(2),福山市保健所(5)]
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症(4)〔西部保健所(1),広島市保健所(3)]
四類	6	E型肝炎(1)〔福山市保健所(1)], デング熱(1)〔広島市保健所(1)], レジオネラ症(4)〔西部保健所(2),広島市保健所(2)]
五類	52	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所(2)], ウイルス性肝炎(1)〔福山市保健所(1)], カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔西部東保健所(1),広島市保健所(1), 呉市保健所(1),福山市保健所(1)], 急性脳炎(3)〔西部東保健所(1),広島市保健所(2)], 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)〔西部東保健所(1),広島市保健所(1),福山市保健所(1)], 後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(2)], 侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)〔広島市保健所(2)], 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)], 梅毒(16)〔北部保健所(2),広島市保健所(10),呉市保健所(2),福山市保健所(2)], 百日咳(18)〔西部保健所(1),西部東保健所(7),広島市保健所(7),呉市保健所(2),福山市保健所(1)]